

# ART DU CLIMAT

INSTITUT  
FRANÇAIS  
アンステイチュ・フランセ

Liberté  
Créativité  
Diversité



# CINEMA, ART DU CLIMAT

映画、  
気象の  
アート

会場・会期  
Lieu & dates

横浜シネマ・ジャック&ベティ À Yokohama Cinéma Jack & Betty

第1部 2023.7.8(土) → 7.14(金) Du 8 au 14 juillet 2023

第2部 2023.8.26(土) → 9.1(金) Du 26 août au 1<sup>er</sup> septembre 2023

東京日仏学院 エスパス・イマージュ À l'Institut français de Tokyo

2023.7.20(木) → 7.30(日) Du 20 au 30 juillet 2023

[ゲスト] 藤井仁子 (映画研究者) Invité spécial : Jinshi Fujii (chercheur en cinéma)



横浜シネマ

ジャック&ベティ

LA CINEMATHEQUE  
FRANCAISE



TV5  
MONDE

## 映画、気象のアート

空に浮かぶ雲、時間や季節によって変化していく陽光や、風、雨、雪……。現実世界を切り取っていく映画において、その世界の一部である気象の要素はつねに重要な役割を果たしてきました。そうした気象要素をとりわけ敏感に感知し、見事にフレームの中にとらえ、登場人物、そして私たち観客の中に、感動や驚き、怒り、官能そして愛といったさまざまな感情を喚起させる作品たち。フランスをはじめとし、世界の映画からそうした作品を選りすぐりご紹介いたします。豪雨、酷暑、山火事といった異常気象が世界的に増えつつあり、気候変動への危機感が高まる今、映画というアートを通じて、気象や自然と人間との関係についてあらためて考察してみましょう。上映時には作品解説、講演会も予定しています。

上映作品 Programme

全作品日本語字幕付き

**嵐** *Le Vent* de Victor Sjöström

[1928年/アメリカ/79分/デジタル/モノクロ]

監督：ヴィクトル・シェストレム

出演：リリアン・ギッシュ、ラルス・ハンソン、モンタギュー・ラヴ、ドロシー・カミング

レティは、テキサスの従兄ピバリーのもとへと頼っていくが、そこは砂嵐吹き荒れる大平原。さらにピバリーの妻コーラの嫉妬に耐えかねたレティは、生きていくためにカウボーイ、ライジとの結婚を決意する。自然現象の「嵐」を、それに対する恐怖心を描くことで見事に表現したサイレント映画の傑作。大女優リリアン・ギッシュが名演技で魅せる。

『嵐』は、ハリウッド映画のロマンティズムとはかけ離れ、(…)北欧の自然感覚、それまで文学だけが慣れ親しんできた主題の複雑さを持つ不可思議な映画であり、スウェーデン映画のすべての美点とアメリカ映画の最高の資質が見事に融合した作品だ(アンリ・ラングロフ)

横浜 7/9(日) 14:00 | 9/1(金) 18:10 東京 7/22(土) 12:30 | 7/29(土) 18:00

**キートンの蒸気船** *Cadet d'eau douce* de Buster Keaton et Charles Reisner

[1928年/アメリカ/72分/デジタル/モノクロ]

監督：バスター・キートン、チャールズ・F・ライズナー

出演：バスター・キートン、アーネスト・トレンス、トム・ルイス、マリオン・バイロン

久しぶりに父親の元へ帰ったキートンは幼馴染のキティと再会するが…。ミシシッピを襲う大暴風のさなか、倒れてくる壁の下敷きになったり傘ごと宙を舞ったりと、キートンのスタント無しの超人的なパフォーマンスにはただただ圧倒される。家の外壁が風で吹き飛ばされた不運なキートンが無傷でその事故から脱出する場面は、トリックなしで撮影され、映画史に刻まれている有名なシーンである。

横浜 7/12(水) 16:00 | 7/14(金) 16:00

**ジャン・エプシュテイン プルターニュの詩** *Les poèmes Bretons* de Jean Epstein

詩人、映画理論家、そして『三面鏡』、『アッシャー家の末裔』などで有名なアヴアン・ギャルド作家ジャン・エプシュテインは、1929年～1934年、新しい映画形態を模索し、プルターニュ地方や周りの島々の厳しい海の生活を背景に、漁師や島の人々を役者として映画を撮りはじめる。「プルターニュの詩」と呼ばれるこれら美しい作品たちは海を巡る一大絵巻を構成し、幻想的な新しいリアリズムが生まれた。自然の驚異を前にした島の女性たちの顔を捉えた映像が圧倒的に美しい。

横浜 8/27(日) 14:00 東京 7/28(金) 19:00

**海の黄金** *L'Or des mers*

[1931年/フランス/72分/デジタル/モノクロ]

島で最も貧しい男が、海岸で不思議な箱を発見する。箱が宝物だと想像する住人たちは、たちどころに男をもてはやし始める。男亡き後、今度はその娘を誘惑し、秘密を探ろうとするのだが……。

**揺りかご** *Les Berceaux*

[1932/フランス/6分/デジタル/モノクロ]

トーキー初期に考案された「撮影されたシャンソン」で、プロモーション・ビデオの先駆けといえる作品。シュリ・ブリュドムによる詩にガブリエル・フォーレが作曲、フォーレのもっとも有名な楽曲のひとつ。音楽に合わせて、船乗りの妻が家で赤ん坊を抱いている間に、カンカレ湾とサンマロ湾を出港する船が朝日に照らされて沖へ出ていく様子が映し出される。光と風の音楽がメロディと響き合うエプシュテインによる真珠のような逸品。

**テンペスト** *Le Tempestaire*

[1947年/フランス/22分/デジタル/モノクロ]

大海原に出た婚約者が戻らず心配する娘。彼女は、祖母の勧めで天候を操るとされる魔術師「テンペステール」を探す旅に出る。

本作を作るために、最初に協力を求めた《登場人物》とは、それは明らかに嵐(テンペスト)だった(ジャン・エプシュテイン)



### 曳き船 *Remorques* de Jean Grémillon

[1941年/フランス/85分/デジタル/モノクロ]

監督：ジャン・グレミヨン

出演：ジャン・ギャバン、ミシェル・モルガン、マドレーヌ・ルノー、フェルナン・ルドゥー

港町プレスト。曳き船サイクロン号の船長アンドレは、難破した船を救助した際に知り合った謎めいた美女カトリーヌと恋に落ちる。二人は海辺の家で密会するようになるが、長年連れ添った妻イヴァンヌは心臓の持病を抱えていた…。

波にもまれる曳き船の甲板、港町の光景、係留される船舶、舟と舟を結ぶ網のたわみ、あるいは夢のようなとしかいえない白い砂浜の拡がり、等々、グレミヨンのカメラが切り取ってみせる現実の断片は、世界の再現を越えた生々しさがスクリーンの無類の緊張感を行きわたらせる (蓮實重彦)

横浜 7/8 (土) 16:15 東京 7/30 (日) 14:30



### 高原の情熱 *Lumière d'été* de Jean Grémillon

[1942年/フランス/105分/デジタル/モノクロ]

監督：ジャン・グレミヨン

出演：マドレーヌ・ルノー、ピエール・ブラッサール、マドレーヌ・ロバンソン、ポール・ベルナール

ローヌ川上流の高原に建つ、パリ・オペラ座の元パレリーナの女性が経営するホテルを舞台に、数組の男女の錯綜する愛憎関係を描いた傑作。『ゲームの規則』を思わせる仮装舞踏会の狂乱からダム建設現場へと続くクライマックス、そして凄惨なラストへ…。

グレミヨンは、人と人との関係を別の方法で再構築し、彼らの真実に可能な限り近づける (ジャン・ドゥーシェ)

横浜 7/13 (木) 18:00 | 8/29 (火) 18:10 東京 7/21 (金) 19:00 | 7/30 (日) 12:00



### 草の上の昼食 *Le Déjeuner sur l'herbe* de Jean Renoir

[1956年/フランス/91分/デジタル/カラー]

監督：ジャン・ルノワール | 出演：ポール・ムーリス、カトリーヌ・ルヴェル、フェルナン・サルドウ、ジャクリーヌ・モラーヌ

プロヴァンスの田舎娘ネネットは、人工受精による人類の進歩を力説するアレクシ教授に共感し、教授の元へ。そんな中、不思議な力を持つという山羊飼いが笛を吹いた途端に突風が吹き荒れて…。

本作は、自然との直接の触れ合いから生まれる感覚に、私たちを引き込む。この映画は官能的であり、熱く、肉感的である。ルノワールはこれまでになくアポロ的世界とディオニュソスの世界、つまり存在の固定された枠組みと生命の抗しがたい動きとの間の葛藤、一度きりの舞台装置とそれを動かす変化し、永遠に動く演出との間の葛藤、つまり秩序と無秩序との葛藤をあからさまに描いている (ジャン・ドゥーシェ)

横浜 7/9 (日) 15:45 東京 7/29 (土) 15:30



### ある夏の記録 *Chronique d'un été* de Jean Rouch et d'Edgar Morin

[1961年/フランス/86分/モノクロ/デジタル]

監督：ジャン・ルーシュ、エドガール・モラン

出演：マルスリーヌ・ロリダン、ジャン＝ピエール・セルジョン、ナディーヌ・パロー、レジス・ドゥブレ

パリ、1960年夏。街へ出たカメラは、様々な人びとを切り取っていく。工場労働者、会社員、芸術家、学生、黒人移民——世代も生活環境も異なる人びと。「あなたは幸せですか？」という質問が投げかけられ、愛、仕事、余暇、人種問題について取材が重ねられていく。作品の後半、インタビューとして撮られた映像について、被写体となった人びとが集められ、議論を交わす。ルーシュとモランの共同監督による、軽量の16ミリカメラと録音機で撮影された「シネマ・ヴェリテ」の代表作。

横浜 7/10 (月) 16:00 | 8/30 (水) 16:00 | 8/31 (木) 19:00

東京 7/23 (日) 15:30



### 魚影の群れ *The Catch* de Shinji Somai

[1983年/日本/141分/35mm/カラー]

監督：相米慎二

出演：緒形拳、夏目雅子、十朱幸代、佐藤浩市

青森県下北島最北端の漁港を舞台に、厳しい北の海で小型船を操り、孤独で過酷なマグロの一本釣りに生命を賭ける海の男たちと、寡黙であるが情熱的な女たちの世界を描く。

この映画はマグロ漁師を主人公としながらも、義理の息子となる青年と年長者との対立など、どこか相米にとっての西部劇だったように思われてならないのだが、その意味でも人間と苛酷な大自然との関係は、常にも増して中心的な関心事となっている (藤井仁子)

横浜 7/14 (金) 17:30 東京 7/22 (土) 17:00



### 血 *Le Sang de Pedro Costa*

[1989年/ポルトガル/95分/デジタル/モノクロ]

監督：ペドロ・コスタ

出演：ペドロ・エストネス、ヌーノ・フェレイラ、イネス・デ・メデイロス、ルイス・ミゲル・シントラ

クリスマスの近づくある冬の夜、父親の行動に疑いを持つ青年ヴィセンテは彼を薬で殺し、恋人クララとともに、遺体を埋める。そのことを弟ニーノに伝ええないまま生活を続けようとするが、父の消息を尋ねる男たちや伯父によってそれは崩れていく。フィルム・ノワールを思わせるようなモノクロームの映像の中で、不安に苛まれながら生きる若者たちの表情が浮かび上がる。ペドロ・コスタ長編デビュー作。

横浜 7/8(土) 14:00 | 東京 7/22(土) 14:30



©Compagnie Eric Rohmer

### エリック・ロメールの「四季の物語」 *Contes des 4 saisons d'Eric Rohmer*

「四季の物語」はロメールのフィルモグラフィーの中でも最も魅力的で、探索的なシリーズ。それぞれの季節が風景や雰囲気、物語にひそかに、しかし確実に影響を与えていく。

『四季の物語』は、『6つの教訓話』とは異なり、「女を探しに行った男が、別の女と出会い、また最初の女に戻る」という、与えられたテーマのバリエーションとして提示されるものではない。しかし、振り返ってみると、その構成や問題点には、類似性や対立性、さらには真の対称性さえ見出すことができる。例えば、第3話(秋)は第1話(春)と韻を踏んでおり、どちらも広い意味での「思想」を扱い、一つまたは複数の実行される、あるいは想定される「陰謀」を描写している。4番目(冬)と2番目(夏)はそれぞれ、一人の女・三人の男、一人の男・三人の女という鏡のような関係である。一方の場合、対象は選択を確信する「信仰」であり、もう一方の場合、選ばないという選択をほぼ確信する「信仰」である、等々(エリック・ロメール)



Conte de printemps ©1989 Les Films du Losange

### 春のソナタ *Conte de printemps*

[1990年/フランス/107分/カラー/デジタル]

出演：アンヌ・テセードル、ユグ・ケステル、フロランス・ダレル、エロイズ・ベネット

哲学教師の女性、パーティーで出会った女の子、それから彼女の父親とその恋人……。パリの家とフォンテーヌブローの別荘で、女たちの奇妙な諍いが始まる。美しい春の庭で繰り広げられる、三人の女と一人の男の恋愛ゲーム。

『春物語』の造形的な完璧さには驚かされる。感情の交錯と同じように、色彩の交錯にほとんど同じ重要性を与えている。この映画の風景的な静謐さ、豊かさやバランスの感覚、それと対照的な映画作家の奇妙なまでの歓喜、まるで初めて恋の罫を解き放ったかのような青年の歓喜に心を打たれる(ルイ・スコレック)

横浜 8/26(土) 14:00



Conte d'hiver ©1991 Les Films du losange

### 冬物語 *Conte d'hiver*

[1991年/フランス/114分/カラー/デジタル]

出演：シャルロット・ヴェリ、フレデリック・ヴァン・デン・ドリーシュ、ミシェル・ヴォレットティ、エルヴェ・フリュク

フェリシーは旅先で知り合ったシャルルと運命的な恋に落ちるが、旅から戻ったあと、彼に教えた自宅の住所の間違いに気づく。運命に弄られながら本物の愛を探し求める女性の信念と、やがて訪れる奇跡を描く。

『冬物語』の奇跡は、ドライヤーの『奇跡』のそれと同じくらい不条理で明白なものだ。それは、たとえ私たちがもう子供でなくとも、映画によって生命を甦らせることを信じさせることである(ノエル・エルブ)

東京 7/20(木) 19:00



Conte d'été ©1996 Les Films du losange

### 夏物語 *Conte d'été*

[1996年/フランス/114分/カラー/デジタル]

出演：メルヴィル・ポボー、アマダ・ラングレ、オーレリア・ノラン、グウェナエル・シモン

ヴァカンスを恋人と過ごすため、ブルターニュ地方の海辺のリゾート地ディナールへやってきたガスパール。クレープ屋で働くマルゴと親しくなるが、パーティーで知り合ったソレーヌとも急接近。そんな中で恋人もやってきて……。本作は50年前にロメールがノートに記録していた個人的な記憶をもとに作られた。マルゴを演じるのは、『海辺のポリヌ』でポリヌを演じた12年後のアマダ・ラングレ。彼女は再び、観察者の役、つまりロメールの分身を演じている。

横浜 8/26(土) 16:30 | 8/29(火) 16:00 | 9/1(金) 16:00 | 東京 7/20(木) 16:30 | 7/28(金) 16:15



Conte d'automne ©1997 Les Films du losange

### 恋の秋 *Conte d'automne*

[1998年/フランス/112分/カラー/デジタル]

出演：マリー・リヴィエール、ベアトリス・ロマン、アラン・リボル、ディディエ・サンドル

ワインの産地ローヌ渓谷を舞台に、移ろいゆく黄金色の秋の光と風に包まれ、大人の恋が熟成していく……。

『四季の物語』の最後を飾る本作は、最もシリアスな作品でもある。田舎でのマリヴォー風恋愛遊戯という軽薄な外見の下に、この映画は、ロメールが内奥の苦悩を描く偉大な映画作家であることを証明している(フレデリック・ポノー)

東京 7/23(日) 18:00



### ヴァン・ゴッホ *Van Gogh* de Maurice Pialat

[1991年/フランス/160分/デジタル/カラー]

監督：モーリス・ピアラ

出演：ジャック・デュトロン、アレクサンドラ・ロンドン、ヘルナール・ル・コク、エルザ・シルベルシュタイン

療養のため訪れたオーヴェルの村で、ゴッホは医師ガシェの診察を受け、ガシェの娘マルグリットと親しくなっていく。土地やそこで生活する人々の表情、四季の変化とともに、ルノワールを思わせるおおかで成熟した演出で、ひとりの男、アーティストの人生の片鱗を見事に描く壮大かつ親密な要素を兼ね備える傑作。

横浜 7/12 (水) 17:30 | 8/28 (月) 16:00 | 8/30 (水) 17:45 | 8/31 (木) 16:00

東京 7/21 (金) 15:00 | 7/29 (土) 12:00



### レディ・チャタレー *Lady Chatterley* de Pascale Ferran

[2006年/フランス/168分/デジタル/カラー]

監督：パスカル・フェラン | 出演：マリナ・ハンズ、ジャン＝ルイ・クロック、イポリット・ジラルド

20世紀を代表する英国作家の一人、D. H. ロレンスの「チャタレー夫人の恋人」を新たな観点から映画化を試み、本国を初め、世界的に高い評価を受けた作品。今回は、2019年デジタルリマスター・完全版初上映となる。

人間の身体が、その「自然」な身体性を獲得する物語が、パスカル・フェランにとって『レディ・チャタレー』である。衣裳で身体を隠していたレディ・チャタレーが、その衣裳を脱ぎ捨てることで、彼女の周囲にある自然を認知し、それに合体するまでを示す。(…)降り出した雨の中をふたつの身体が疾走するシーンは、本当に素晴らしい(梅本洋一)

横浜 8/27 (日) 16:10 東京 7/30 (土) 17:00



### アクトレス～女たちの舞台～ *Sils Maria* d'Olivier Assayas

[2014年/フランス/124分/デジタル/カラー]

監督：オリヴィエ・アサイヤス | 出演：ジュリエット・ピノシュ、クリステン・シュチュワート、クロエ・グレース・モレッツ

ひとりの女優の人生を決定づけた演出家の死。彼女はかつてその演出家の戯曲でひとりの若手女優を演じた。そして彼女はふたたび、その戯曲を、自分が演じたその女優を見つめる年上の女優役で演じることに。

1920年にアルノルド・フランクが撮った素晴らしいシルス・マリアについてのドキュメンタリーを見た。19世紀末のヨーロッパの芸術、哲学の歴史と深く結びついているこの山間、そしてそこにかかる雲はフランクやニーチェを見ていたのと同じように自分を見ている、突然そうした目が眩むような考えにとらわれ、風景の中に歴史が見え、そしてその風景がひとりの登場人物へと生成していった(オリヴィエ・アサイヤス)

横浜 7/10 (月) 17:45 | 7/11 (火) 16:00



### 見えない太陽 *L'Adieu à la nuit* d'André Téchiné

[2019年/フランス＝ドイツ/102分/デジタル/カラー]

監督：アンドレ・テシネ | 出演：カトリーヌ・ドヌーヴ、ケイシー・モッテ・クライン、ウーヤラ・アマムラ

2015年春。牧場や農場を営むミュリエルは、久しぶりに帰ってきた孫息子アレックスとの再会に心躍らせる。しかしアレックスがイスラム教に入信し、しかもその教団がシリアのイスラム教テロリストたちとつながりがあることを知ったミュリエルはなんと彼を引きとめようとするのだが……。テシネの多くの作品同様、本作も彼が愛してやまないフランス南西部(スペインとの国境地域、ピレネー＝オリエンタル県)の自然を舞台に撮っており、この地方の光や季節と登場人物の関係が時に官能的に、時にドラマティックに刻まれている。

横浜 7/11 (火) 18:20 | 7/13 (木) 16:00 | 8/28 (月) 18:55

東京 7/23 (日) 12:45

主催：アンスティチュ・フランセ 助成：アンスティチュ・フランセバリ本部、ユニフランス  
アンスティチュ・フランセ 映画プログラム オフィシャル・パートナー：CNC、TV5 MONDE、  
笹川日仏財団 フィルム提供及び協力：シネマテーク・フランセーズ、株式会社コンテンツ・  
ポテンシャル、ダッサイ・フィルムズ、レ・フィルム・ドゥ・ロザンジュ、インタートーン、株式会  
社アイ・ヴィー・シ、マーメイド・フィルムズ、プレイタイム、松竹株式会社、タマサ・デストリ  
ビューション、tapetum works、トランスフォーマー、U-NEXT、ザジ・フィルムズ  
ベドロ・コスタ、林美穂、齋藤敦子(敬称略)

Organisé par l'Institut français du Japon Avec le soutien de : Institut  
français, CNC, TV5 MONDE, Fondation franco-Japonaise Sasakawa Merci  
à Cinémathèque française, Contentspotential, Dassai Films ,Inc., les Films  
de Losange, InterTome, IVC, Mermaid Films, Playtime, Shochiku Co., Ltd.,  
Tamasa Distribution, tapetum works, Transformer, U-NEXT, ZAZIE FILMS.  
Pedro Costa, Miho Hayashi, Atsuko Saito

映画、  
気象の  
アート  
CINEMA,  
ART DU  
CLIMAT

上映スケジュール Calendrier

横浜シネマ・ジャック&ベティ

Yokohama Cinéma Jack & Betty

7.8(土)	14:00	血 <i>Le Sang</i> (95分) 上映前、坂本安美による特集紹介あり Présentation du cycle par Abi Sakamoto avant la projection
	16:15	曳き船 <i>Remorques</i> (85分) 上映前に作品紹介あり Séance présentée Abi Sakamoto
7.9(日)	14:00	風 <i>The Wind</i> (79分)
	15:45	草の上の昼食 <i>Le Déjeuner sur l'herbe</i> (91分)
7.10(月)	16:00	ある夏の記録 <i>Chronique d'un été</i> (86分)
	17:45	アクトレス～女たちの舞台～ <i>Sils Maria</i> (124分)
7.11(火)	16:00	アクトレス～女たちの舞台～ <i>Sils Maria</i> (124分)
	18:20	見えない太陽 <i>L'Adieu à la nuit</i> (102分)
7.12(水)	16:00	キートンの蒸気船 <i>Cadet d'eau douce</i> (72分)
	17:30	ヴァン・ゴッホ <i>Van Gogh</i> (160分)
7.13(木)	16:00	見えない太陽 <i>L'Adieu à la nuit</i> (102分)
	18:00	高原の情熱 <i>Lumière d'été</i> (105分)
7.14(金)	16:00	キートンの蒸気船 <i>Cadet d'eau douce</i> (72分)
	17:30	魚影の群れ <i>The Catch</i> (141分)
8.26(土)	14:00	春のソナタ <i>Conte de printemps</i> (107分) 上映後、坂本安美によるトークあり suivi d'une conférence par Abi SAKAMOTO
	16:30	夏物語 <i>Conte d'été</i> (114分)
8.27(日)	14:00	ジャン・エプシュテイン プルターニユの詩 <i>Jean Epstein Poèmes Bretons: 海の黄金 L'Or des mers</i> (72分)、揺りかご <i>les Berceaux</i> (6分)、テンペスト <i>Le Tempestaire</i> (22分) 上映前に作品紹介あり Séance présentée Abi Sakamoto
	16:10	レディ・チャタレー <i>Lady Chatterley</i> (168分) 上映前に作品紹介あり Séance présentée Abi Sakamoto
8.28(月)	16:00	ヴァン・ゴッホ <i>Van Gogh</i> (160分)
	18:55	見えない太陽 <i>L'Adieu à la nuit</i> (102分)
8.29(火)	16:00	夏物語 <i>Conte d'été</i> (114分)
	18:10	高原の情熱 <i>Lumière d'été</i> (105分)
8.30(水)	16:00	ある夏の記録 <i>Chronique d'un été</i> (86分)
	17:45	ヴァン・ゴッホ <i>Van Gogh</i> (160分)
8.31(木)	16:00	ヴァン・ゴッホ <i>Van Gogh</i> (160分)
	19:00	ある夏の記録 <i>Chronique d'un été</i> (86分)
9.1(金)	16:00	夏物語 <i>Conte d'été</i> (114分)
	18:10	風 <i>The Wind</i> (79分)

入場料金(全席指定・定員入替制): 一般=1,500円/大専・シニア=1,200円/高校以下、ジャック&ベティ会員、アンスティチュ・フランセ会員=1000円(横浜日仏学院会員は、ポイントカードの3ポイント利用で1回無料)  
\*開場時間: 上映の10分前  
\*チケットは、劇場窓口にて、ご鑑賞の3日前から指定席で発売します。

【お問い合わせ】

横浜シネマ・ジャック&ベティ | [www.jackandbetty.net/](http://www.jackandbetty.net/)

〒231-0056 横浜市中区若葉町3-51 | Tel. 045-243-9800

横浜日仏学院 | [www.institutfrancais.jp/yokohama/](http://www.institutfrancais.jp/yokohama/)

〒231-0015 横浜市中区尾上町5-76 明治屋ビル上7階 | Tel. 045-201-1514



東京日仏学院 エスパス・イマージュ

Institut français de Tokyo

7.20(木)	16:30	夏物語 <i>Conte d'été</i> (114分)
	19:00	冬物語 <i>Conte d'hivers</i> (114分) 上映前に作品紹介あり Séance présentée Abi Sakamoto
7.21(金)	15:00	ヴァン・ゴッホ <i>Van Gogh</i> (160分) 上映前に作品紹介あり Séance présentée Abi Sakamoto
	19:00	高原の情熱 <i>Lumière d'été</i> (105分) 上映前に作品紹介あり Séance présentée Abi Sakamoto
7.22(土)	12:30	風 <i>Le Vent</i> (79分)
	14:30	血 <i>Le Sang</i> (95分)
7.23(日)	17:00	魚影の群れ <i>The Catch</i> (141分) 上映後にレクチャーあり(講師: 藤井仁子) Suivi d'une conférence par Jinshi Fujii
	12:45	見えない太陽 <i>L'Adieu à la nuit</i> (102分)
7.28(金)	15:30	ある夏の記録 <i>Chronique d'un été</i> (86分)
	18:00	恋の秋 <i>Conte d'automne</i> (112分)
7.29(土)	16:15	夏物語 <i>Conte d'été</i> (114分)
	19:00	ジャン・エプシュテイン プルターニユの詩 <i>Jean Epstein Poèmes Bretons: 海の黄金 L'Or des mers</i> (72分)、揺りかご <i>les Berceaux</i> (6分)、テンペスト <i>Le Tempestaire</i> (22分) 上映前に作品紹介あり Séance présentée Abi Sakamoto
7.30(日)	12:00	ヴァン・ゴッホ <i>Van Gogh</i> (160分)
	15:30	草の上の昼食 <i>Le Déjeuner sur l'herbe</i> (91分)
7.30(日)	12:00	風 <i>Le Vent</i> (79分)
	14:30	高原の情熱 <i>Lumière d'été</i> (105分)
7.30(日)	14:30	曳き船 <i>Remorques</i> (85分) 上映前に作品紹介あり Séance présentée Abi Sakamoto
	17:00	レディ・チャタレー <i>Lady Chatterley</i> (168分) 上映前に作品紹介あり Séance présentée Abi Sakamoto

入場料金(一律/全席自由・整理番号順): 1,100円

Peatix (<http://ifjtokyo/peatix.com/view/#>)にて

7/6(木) 14:00より発売

\*窓口販売はございませんのでご注意ください。

\*上映開始15分前開場・上映開始10分後以降の入場はご遠慮下さい



【お問い合わせ】

東京日仏学院 | [www.institutfrancais.jp/tokyo/](http://www.institutfrancais.jp/tokyo/)

〒162-8415 東京都新宿区西谷船河原町15 | Tel. 03-5206-2500 | Fax. 03-5206-2501

東京日仏学院 映画のアトリエ 2023年夏学期

エリック・ロメール 四季の物語をめぐって

【日時】 7月19日(水) 19:00~20:30

【講師】 坂本安美

日本でも愛されるエリック・ロメールが移ろう四つの季節の風景、色彩、大気、木々や花、自然を刻みながら綴った四つの恋物語、『春のソナタ』、『冬物語』、『夏物語』、『恋の秋』。それぞれの作品の魅力、そして繋がり、を、抜粋とともに確認していきます。

【お申し込み】

<https://tokyo.extranet-aec.com/classes/detail?courseId=29574#/>